

農業試験場・採種ほ場周辺の生産者の皆様へ

健全な種子生産のため

# イネばか苗病の防除対策にご協力をお願いします

- ・国府町内と農業試験場(鳥取市橋本)周辺では、県内で使用する水稻種子の生産を行っています。
- ・近年、種子生産ほ場の周辺において、ばか苗病の発生がみられ、種子生産の障害となっています。
- ・ばか苗病は空気伝染で種子に感染し、感染した種子によって広域発病する恐れがある怖い病気です。
- ・健全な種子生産のため、ばか苗病の防除対策にご理解とご協力をお願いします。

## 種子から種子への伝染を防ぐために

- ・JA購入種子と自家採種種子等を一緒に扱わない(浸種、保管等)。
- ・必ず種子消毒済みの種子を使用して育苗しましょう。

## ほ場からほ場への伝染を防ぐために

- ・ばか苗病を発見した場合は、JA、普及所、農業試験場等にお知らせください(すぐに抜き取らないでください)。

ばか苗病が発生すると、発生ほ場から周囲のほ場へ、感染が拡大し、発生後の有効な防除方法はありません。

# イネばか苗病の症状

- ・ばか苗病は種子伝染する。
- ・発病すると節間、葉が徒長し、茎葉の色は、黄緑色になる。
- ・発病茎は最後には枯死し、病原菌の胞子が付着して白色になる。



苗の徒長



茎の徒長



茎の枯死

ばか苗病菌の胞子(卵)

## ばか苗病を防ぐため、以下のことに注意しましょう

### 1. 毎年、種子更新を実施

※自家採種種子、県外産種子は、感染源となるリスクがあります。

### 2. 種子消毒済みの種子を使用

### 3. ばか苗病を発見した場合は、関係機関に連絡を

※まずはJ A、普及所、農業試験場等にご連絡ください。

○連絡後の指示を待ってから発病苗や発病株を除去しましょう。

※苗箱で発生した場合は、基本的にはその苗箱の使用を控えましょう。

※本田で発生した株は、発生ほ場および周辺の採種ほ場の穂が出るまでに抜き取りましょう。

※除去した苗・株は育苗場所や本田から離れたところに埋設等を行って処分しましょう。



### 4. 種子での感染防止（特に温湯消毒種子）

※温湯消毒は、薬剤消毒と比較して、消毒後の再感染リスクが高いので注意。

#### 1) 種子を保管しているとき

○保管場所の清掃を行い、清潔で乾燥した場所で保管しましょう。

※稲わら、もみ殻、米ぬか等、前年の残渣は感染源になる可能性があります。

※保管場所が多湿だと、病原菌の増殖リスクが高まります。

○消毒前と消毒後の種もみを、同じところに保管しないでください。

#### 2) 浸種～育苗の作業をするとき

○作業前に作業場内の清掃を行い、清潔にしましょう。

※稲わら、もみ殻、米ぬか等、前年の残渣は感染源になる可能性があります。

○育苗箱・シートは、消毒しておきましょう。

○J A購入種子とそれ以外の種子(自家採種種子、県外産種子等)と一緒に種子消毒、浸種、催芽をしないでください。

※自家採種種子、県外産種子には、ばか苗病菌が付着している可能性があり、感染リスクが高まります。

